

# 名経大通信

第13号

2005年4月15日

名古屋経済大学

<http://www.nagoya-ku.ac.jp/>

**P1** 名経大の新段階に際して 鈴木 正 副学長

**P2** キャリアデザイン学科発足 野田昇司 短期大学部副学長  
学生とともに四十年 水田珠枝 先生

**P3-4** 特集  
卒業生が語る就職活動  
企業が求める人物像

**P8** Information  
4月から全面禁煙  
バリだより

**P5-6** Campus Guide  
大学院・大学・短期大学部の教員一覧

**P9** Global  
スリランカ留学生に聞く

**P7** FACE to face  
ゼミナール訪問

**P10** Club  
ラグビー部  
人事異動

4月1日 入学式

# 四学部の調和的發展を

## 名経大の新段階に際して

副学長 鈴木 正



平成十七年度は理系の要素を備えた新しい学部が誕生した。管理栄養学科と幼児保育学科という、やや色合いのちがう二学科から成る人間生活科学部が、学部としてのユニティをもって立ちあがるには既設学部と調和的に発展していく展望が望まれる。

卒業後に国家試験を受けて管理栄養士の資格をとることをめざす学生や栄養教諭・幼稚園教諭・保育士など多様な教職につくことをめざす学生の教育は、授業の仕方が社会科学系中心の学部とは異色なものになるにちがいない。

それぞれの学部・学科が特色を生かして伸びていくには、学園の創立者・市邨芳樹先生の語録にあるように「桜は桜、松は松」といった個性ある教育が行われると同時に、桜や松という樹木としての生命の共通性がなくてはならない。その一般性こそ、「一に人物・二に伎倆」という建学の精神であろう。専門的知識や技術・技能を生かす人間教育が大前提である。人物第一の教育は、萩原延寿の『自

由の精神』をよむと、福沢諭吉の教育観と品位ある人物をめざす点で同じである。また新鳥襲を創立者とする同志社大のキリスト教に基づく「良心教育」も、人格教育という一点で同じ理念である。

人間教育には教師と学生の膝付きあわせたふれあいを欠くことはできない。正直いって私は小学校の前半、不登校はしなかったものの学校嫌いだっただ。四年生になったとき、「のんきなとつさん」というあだ名の教頭さんの次に年配の先生が担任になった。山田昭吉という名をいままも記憶している。その先生が声



入学式会場での受付

をかけ励ましてくれたから勉強するようになった。成績より何より学校が楽しくなった。この先生の存在がなかったら、今の私はないとさえ思っている。この点は大学生だって同じではないか。

次に、こうした生き生きとした教育を支える大学のシステムについていえば、四つの学部と二つの大学院研究科が、それぞれの組織エゴになってタコツボ化するのでなく横断的に相互の理解と協力を寛容の精神でもって培っていかねばならない。それには本学の各研究所やセンター、そして八つの研究会で構成されている学術研究センター、さらに共通科目群担当者会議などによる学部を超えた知的な経験交流が役立つことだろう。私はそのことを切に希望したいと思っている。

これまで述べてきた新段階の課題は次の年の市邨学園創立百周年という新しい画期へと連動している。この一年の教育と研究の積極的な試みが、一世紀という長い伝統と経験をふまえて、さらに百年の境位を超えて新しい門出をするスプリングボードになるといい。

昨今、大学のおかれた状況のなかで教職員意識改革の重要性が強調されている。それには現状に対する客観的な観察も大切だが、その上に主体的なアクションが一層大事である。大学（その実質は教育）を他人ごとのように観察の対象とするのではなく、身につまされることとして受けとめ、がんばっていきたいと思う。

# 「キャリアデザイン学科」出発

短期大学部副学長  
キャリアデザイン学科長

野田昇司



短期大学部では、これまでの「現代コミュニケーション学」ニケーション学科」「生活文化学（生活文化専攻）」「商経科」を統合し、「キャリアデザイン学科」として出発します。幾多の材を輩出した三学科の伝統を継承しながら、時代の要求に即応できる新しいタイプの学科です。

## キャリアデザインとは？

キャリア（仕事、人生）を自分でデザイン

## 学生とともに四十年



水田 珠枝  
(名古屋経済大学名誉教授)

一九六五年四月、私は新設の市邨学園短期大学に就任しました。付近には桃畑がたくさんあり、新しい校舎と新しい入学生を祝福するかのよつに、ピンクの桃の花が開きました。四十年たつたいまも、当時のこ

（設計）すると言つ意味です。何になりたいのが定まっている人はその目標に従つて勉強します。まだ将来を決めかねている人は入学後、先生のサポートで自分にふさわしい分野を見つけカリキュラムを組みます。

## 具体的にどんな科目があるのか？

コア科目群として、自分の適性を知り、職業について理解を深める「キャリアデザイン論」・「キャリアデザイン演習」・「などがああります。学科科目は5つのフィールド（メディア情報、ビジネス、生活環境、国際コミュニケーション、心理・福祉）、23のユニットから選びます。もちろん、歴史、心理学、英語など教養科目も充実しています。

## どんな資格が取れるのか？

ウェブデザイン実務士、上級情報処理士、上級ビジネス実務士などのほか医療秘書実務士、訪

とがついこの間のように思い出されます。

しかし、実際には四十年という年月は長く、この間さまざまなことがありました。本学は大きく発展して名古屋経済大学が設立され、大勢の学生を迎え入れ、送り出し、周辺には住宅が建ち並ぶようになりました。

私が、自分の半生を越える年月をこの大学に勤務してきたのは、大学が持つ雰囲気に着かれたからではないかと思つています。過去の知識を吸収し新たな問題に取り組んでいくという、学び研究するという活動は、自由と誠実さと熱意が必要です。

本学の美しい自然環境だけでなく、教職員も学生も、この共通の活動を担つことが、一種のさわやかな雰囲気

問介護員2級を新設しました。所定の単位を取得すれば資格・称号を授与されます。また、ワープロ検定、ビジネスコンピューティング検定、簿記検定、販売士検定、秘書技能検定、ファイナンシャルプランナー、ファッション販売能力検定、色彩能力検定、福祉住環境コーディネーター検定、診療報酬請求事務認定試験、実用英語検定、TOEIC、旅行業務取扱主任者などが目標となる資格等です。

## 市民が受講できる科目は？

訪問介護員（ホームヘルパー）2級があります。講義、演習、実習合わせて130時間で資格が取れます。これからも、社会に開かれた短大として、市民向け講座を二層充実させます。

市邨学園短大として誕生後四十年の節目に、短大は保育科とキャリアデザイン学科の二学科体制で新たなスタートを切ります。

をつくりだしているのでしょう。大学を訪れた知人が、ここに来ると気分がすっきりするといったのは、それに触れたからでしょう。

退職後も、私はこれまでの研究を継続するつもりです。新入生の皆さんも、こうした雰囲気づくりに参加され、社会に巣立っていかれることを願っています。

水田珠枝先生はこの三月で経済学部教授を退任されました。お別れに、昨年末、「政治思想史とフェミニズム」のタイトルで講演されました。四月から人間生活科学部の非常勤講師として通われます。

# 私たちの就職活動

## 企業が求める人物像

就職部



リクルート社の『就職白書2004』によれば、2005年度の採用人数は増加の見通しです（文科系で採用を増加させる企業九・九%、減少させる企業三・一%）。前年度以上に増加企業の割合は高くなっています。

04年度は、例年になく早いペースで内定が出ました。景気の好転による求人が割ほど増えたこともさることながら、年間四回にわたるゼミ担当教員による進路状況調査の実施が寄与したことは間違いありません。本学の特色である教員と職員の一体化した就職支援への取り組みの成果といえましょう。

04年度の就職内定率は、経済学部九五%強、法学部九〇%強と03年度を共に上回っています。短期大学部においては03年度並みの九六%でした。

企業の求める人物像は、意欲がある、元気がよい、明るいなどが決り文句になっていますが、最近では、「コミュニケーション能力がある人、つまり、相手の言わんとすることを理解でき、自分の伝えたいことを明瞭に表現し、相手を動かすことのできる人が求められています。さらに、ポテンシャルの高い人にも関心の目が向けられています。

04年度こんなケースがありました。取得単位が不足し留年した学生が奮起して、業界トップの住宅メーカーに内定しました。東証一部上場企業も優等生ばかりを採用するとは限りません。個性豊かな、潜在的な能力を秘めた人材を求め始めています。そうでなくては、これからの大競争時代を生き残ることができないことが分かってきたのです。

本年二月十八日に恒例の「学内合同企業展」を開催しました。（上の写真）参加企業数は七十社、学生の参加者は二百八十五名でした。参加申込み企業は百社に迫りますが、会場の都合もあり、優良企業七十社に絞り込みました。

来春卒業生も必ずや教職員の期待に応えてくれるものと信じています。



### 圧迫はね返す

山口 宏志さん（法学部）

「積水ハウス、営業」

「祖父は大工、父は設計士、その家でハウスメーカーというわけでもありませんが」といった感じで山口さんは話す。

バイトに力を入れすぎてか、留年の憂き目にもあった。「あせりはなかった。樂觀的で前向きな人たちに接していましたから」。就職雑誌などもほとんど読まず、その場の雰囲気に対応しようというスタンスできたそうだ。



### 小論文で肩すかし

小出 映里奈さん（短期大学部保育科）

「愛知県三好町、保育士」

「だめだろうと思って挑戦してみることの大切さを知りました」

三好町の次に名古屋市を、その次は実習先の保育園も受験するつもりだったという。「それで失敗すれば臨時で働き、来年また受ければいいと考えていました。親戚中が合格を喜んでくれました」と小出さんは顔をほころばせる。

小論文では、「どんな保育士になり

たいか」などを書かされるかと思っていた。ところが、まるで違い、課題は「地域の施設の生かし方」。高齢者と触れ合うコミュニケーションセンターを増やし、世代間の交流が深まればよいと書いた。

在学中は好きな科目が多く授業に身が入ったそうだ。一年生の時に自動車免許をとり、マイカー通勤となる。



## 「公務」にあこがれ

生駒 雅澄さん（経済学部）  
「自衛隊、海上自衛官」

「公の仕事、それも事務職でなく、人命救助などができる仕事を目指していました」

自衛隊の中でも生駒さんが第一希望を「海上」にしたのは、海外へ出るチャンスがあり、他の職場では味わえない経験ができ、見聞を広めることができるからだという。大卒は

励めば二年位で三曹に昇級し、幹部への道が開かれている。

野球部の副キャプテンとして仲間づくりの大切さを実感した。そのことを就職試験の作文「大学生活で得たもの」に書いた。今は「親への感謝の念でいっぱいです。これから恩返しをします」。



## 違った「夢」見られる

伊藤 仁美さん（短期大学部生活文化学科）  
「日本化学繊維協会、検査員」

「栄養士になるつもりでしたが、違った世界の夢を見ることになりました」

「最初の就職試験はコチコチに緊張しました。二度目はここで働くのだという気持ちを入れて受けました」。代表的な化学繊維メーカーが集まった業者団体だ。もともと事務職は好きでなかったため、「検査員」と告げられたときはあゝ良かったと思っ

そつだ。

食物栄養の実験は好きだった。就職先は畑違いだが、どんな仕事か自分待っているか、楽しみ。

「最近気になること」という課題の作文を書かされ、女子児童が同級生を殺害した事件を取り上げた。いま、伊藤さんは思う。「どつして命が大切かと問われたとき、ちゃんと理由を言える大人になりたい」と。



## あせらず、あわてず

姜 莉さん（経済学部）  
「三洋化成工業、事務職」

「この会社は中国にも工場があります。私は日中間を行ったり来たりして、良い連絡役になりたいです」

三洋化成工業はプラスチック用品の開発・製造。姜さんはこの会社でアルバイトをして「どんな商品を作っているか、どのように作られているか、基本を体で覚えた」。だんだん面白くなり、その職場に魅力を感じるようになった。留学生は就職情報を得るにも苦労が多

く、日本人学生よりも内定が遅れがちだ。しかし「あせらずに、あわてずに」と後輩らに呼びかける。「大学ではたくさん思い出ができました。先生方も優しく、大学と違い、会社は人間関係が複雑ですねえ」

（姜さんは中国・大連から留学。名古屋の日本語学校で学習後、2001年に本学入学。昨年夏の一か月、ニューヨークで英語を勉強した）



## 得意分野で生きがい

小川 佑治さん（経済学部）  
「ヤマダ電機、営業担当」

売上高一兆円。日本の家電業界で初の達成。ヤマダ電機のホットニュースが流れた。小川さんは三月の合宿に合わせ、勢いを感じたようだ。「パソコンなどは得意分野です。イメージしていたところに就職できました」

二年間、同じ顔ぶれのゼミで研究に没頭。あれをやった、これをやったと語り合ってきた。在学中に車、旅行、趣味など、かなり自由に楽しめたそうだ。就職活動では数社に当たり、不安もあつたという。

「仕事に集中します。将来の昇進などは別に、これからの長いのだから仕事を生きがいにしたいと思います」と決意を示す。

「仕事に集中します。将来の昇進などは別に、これからの長いのだから仕事を生きがいにしたいと思います」と決意を示す。

# 名古屋経済大学教員一覽

(平成17年4月1日現在)

五十音順 印：研究科長・学部長・学科長 印：主任教授

学長 末岡 照章

## 大学院

### 【法学研究科】

教授

- 秋田 量正(企業法務研究)
- 李崎 範燦(比較企業法研究)
- 石井 文廣(企業法研究)
- 岩 一生(国際取引法研究)
- 及川 光明(民法研究)
- 岡 勝年(経済刑法研究)
- 巢山 靖司(国際政治論研究)
- 高橋 利治(企業法特許研究)
- 富岡 仁(国際法研究)
- 中山 武憲(経済法研究)
- 新美 治(憲法研究)
- 濱 邦久(刑事法研究)
- 樋口 徹(経済法特許研究)
- 増田 輝夫(租税法研究)
- 宮崎 孝(国際経済法研究)
- 若原紀代子(民法研究)
- 酒巻 俊雄(企業法研究)

### 【会計学研究科】

教授

- 伊藤 俊雄(会計学研究・管理会計論)
- 大江 晋也(税法研究)
- 佐藤 敏昭(企業法会計論研究)
- 塩原 一郎(会計学研究・財務会計論)
- 野村 重明(金融論研究)
- 牧野 香三(国際経済論研究)
- 丸山 祐一(経営管理論研究)
- 山本 繁(簿記論研究)
- 齋藤 奏(会計学研究・会計学原理)

## 大学

### 【経済学部】

教授

- 石田 隆造(財政学)
- 伊藤 幸男(ミクログン経済学)
- 小木 紀之(消費者問題論)
- 荻田 誠(経済政策)
- 高藤達次郎(社会学)
- 坂本 雅子(日本経済史)
- 野村 重明(金融論)
- 堀田 誠三(経済史)
- 牧野 香三(国際経済論)
- 吉田 啓子(少子・高齢社会論)
- 伊藤 久司(経済統計学)
- 大野 隆(英語)
- 岸野 澄子(地方財政論)
- 木全 敬止(消費者対応論)
- 木村 隆夫(労働経済論)
- 下村 尚司(数学)
- 原田 裕治(日本経済論)

### 経済学部の目標達成を

学部長 牧野 香三



堀田誠三教授の後を継ぎ、経済学部長に就任しました。大学冬の時代が本格化し、大学を取り巻く環境がますます厳しくなるなか、大任を担うことになり、身が引き締まる思いです。経済学部の教育目標である「消費者・生活者の視点から、現代経済の諸問題に深い洞察力をもち、実践的な問題解決能力を備えた人材の育成」を達成できるよう一杯がんばる所存です。皆様のご協力をお願いいたします。

### 【経営学部】

教授

- 伊藤 俊雄(会計学)
- 岡本 秀昭(マーケティング論)
- 川岸 清(人的資源管理論)
- 佐藤 敏昭(社会学)
- 柴田 良一(情報システム論)
- 日比野雅俊(水質環境学)
- 丸山 祐一(経営管理論)
- 三浦 東(経営戦略論)
- 光岡 朗(税務会計論)
- 横山 光伯(基礎化学)
- 荒鹿 善之(財務会計論)
- 安 孝錫(会計学)
- 後藤 文男(生活経営論)
- 近藤 利恵(英語)
- 高木 史人(口承文学)
- 高松 和宣(管理会計論)
- 中西 昌武(経営情報論)
- 中村 壽男(簿記学)
- 萩原 俊彦(ビジネスモデル)
- 吉川 伸一(マネジメント・エンジニアリング)
- 吉澤 洋二(健康とスポーツ)
- 李 彩華(哲学)
- 佐伯 陽介(物流論)
- 秋田 量正(会社法)
- 李 範燦(韓国会社法)
- 石井 文廣(中国会社法)
- 岩崎 一生(国際取引法)
- 及川 光明(英米契約法)
- 岡 勝年(刑法)
- 庄司 節子(健康とスポーツ)
- 鈴木 正(日本思想史)
- 巢山 靖司(国際政治論)

助教授

- 川津 雅江(英語)
- 後藤 典文(保険法)
- 近藤 久雄(親族・相続法)
- 下川 郁子(英語)
- 谷川 毅(中国語)
- 辻田 芳幸(知的財産法)
- 中元 初美(英語)
- 美濃羽正康(会社法)
- 柳本祐加子(物権法)
- 四本 健二(アジア法)
- 清水 裕樹(刑法)
- 萩原 聡央(行政法)

講師

### 【人間生活科学部】

#### 幼児保育学科

教授

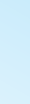
- 安藤 悦夫(音楽演習)
- 石川 昭義(保育原理)
- 伊藤 健次(臨床心理学)
- 伊藤 利明(教育原理)
- 小林 修(造形演習)
- 星野 政明(社会福祉)
- 宮澤 秀次(発達心理学)

講師

- 中東 真紀(給食経営管理論)
- 市川 玲子 上野 晋作
- 加治屋裕也 古屋かな恵
- 武藤ゆづみ 吉田 幸代

助手

### 人間生活科学部のスタートに当たって



学部長 中野紀和男

これまで短期大学部保育科及び生活文化学科食物栄養専攻では、多くの優れた人材を世に送り出してきました。しかし時代の变化とともに、より高度な知識と技能を持った人材の要求が増えています。本学でもそれに応えて、四月より幼児保育学科(定員50名)と管理栄養学科(ハコ名)からなる、四年制の人間生活科学部をスタートさせます。当学部は本学初めての理系系学部であり、教員一同、新しい皮膚には新しい酒を...の意気込んでいます。

## 合格をめざし

## 春休み勉強会

法学部

## 川上博英ゼミナール

「活気のあるゼミに」。私の目標としているところです。法学部法学科では、ゼミは2年次の「演習」で集まった学生と卒業までの3年間一緒に勉強していくことになっています。学生との関わりを大切にしなければならぬと思っています。

私の「演習」のゼミ生は、2年生進級時に企業法コースを志望し、卒

業後は、一般企業への就職を希望する人が多いです。何か目標をもって取り組むことが勉強への動機付けのためにも重要であり、その目標は、漠然としたものではなく、一定期間で到達できる目標であることが望ましいと考えます。

そこで、ゼミ生とも話し合っており、この春休み中に「ビジネス実務法務検定」受験のための勉強会を週2回、合計で8回行いました。みんなが今年7月の試験に合格することを目指しています。この検定を選んだ理由は、二つあります。一つは検定の内容が企業の

## フェイス・トウ・フェイス



主要な活動に関してビジネスパーソンが理解しておくべき法的な基礎的知識の有無について問われるものであるということです。もう一つは、数年前愛知県内のある大企業の法務部長から「新入社員のうち法務部に配属された者全員に対して、まずこの検定試験に合格することを命じる」と聞いたことがあったからです。

春休み中の勉強会は、自由参加でしたが、多くは無欠席で参加をしてくれました。前向きにがんばるというゼミ生が増え、どんどん活気ついていくことを期待しています。

運動あそびを通して  
保育を考える

短期大学部保育科

## 寺田泰人ゼミナール

近年、子どもの体力は長期的に低下を続けています。子どもたち自身や社会に対する悪影響が危惧され、わが国の将来の発展のためにも子どもの体力向上方策に取り組む必要があるといえます。特に保育職を目指す学生においては、この問題に関心をもち、自らスポーツを楽しむことは意義深いことです。

ゼミでは、子どものスポーツや運



動あそびを題材に教室での学習だけでなく体育館や屋外でのあそびなどを実際に体験します。そして、その成果を毎年大学祭で展示発表しています。平成十五年度は「昔のあそびと今のあそび」、平成十六年度は「大人のスポーツを子どもにアレンジしてみた」をテーマに発表しました。もちろん大学祭では恒例の模擬店も出しています。寺田ゼミの「とん汁&おにぎり屋」はたいへん好評をいただいています。

また春休みや夏休みを利用してスポーツの実践とゼミ生の親睦を兼ねてゼミ旅行に出かけています。例年

八月には篠島へ海水浴旅行に出かけ、三月には合同ゼミ旅行として妙高高原に行き、スキー講習や雪あそびを行います。それ以外にも一年次での「いちむらこまつり」や「大学祭」に向けて学内合宿所で何度か合宿を行ったり（もちろん懇親会は必ず含まれますが）、プロ野球などのスポーツ観戦に出かけたりと一年半という短い期間ではありますが、盛りだくさんの行事内容です。こうしたゼミナール活動を通して友人たちとの楽しい思い出をいっぱい体験することによって心豊かな保育者に育っていくものと信じています。

# マナーと健康を守りましょう



## 4月から全面禁煙

### キャンパス全ての建物で

本学では平成十七年四月一日からキャンパスの建物での喫煙を全面禁止することになり、末岡学長名で告知しました。指定した場所以外では喫煙できなくなりましたので十分注意してください。

以前から、たばこの煙にはタール、ニコチン、一酸化炭素など約二百種もの有害物質が含まれ、喫煙者は喉頭がん、肺がんにかかる率が高く、心筋梗塞や脳卒中などの循環器の病気や呼吸器、胃腸の病気にかかりやいと警告されてきました。近年、たばこに対する考え方が大きく変化してきました。たばこを吸う本人ばかりか、周りで煙を吸わされる人も健康を損なうことが大きな社会問題になってきたのです。

このよつな「受動喫煙」を防止するため、平成十五年五月、「健康増進法」が施行されました。第十五条で次のように定められています。

「学校、体育館、病院、劇場、観覧場、集会場、展示場、百貨店、事務所、官公庁施設、飲食店、その他多数の者が利用する施設を管理する者は、これらを利用する者について、受動喫煙を防止するために必要な措置を講ずるよう

努めなければならない。」

この法律を受けて全国的に喫煙への規制対策が大きく動き出しました。心配なのは、喫煙が若年層に広がり、教育現場での禁煙指導の必要も痛感しています。

全国調査によりますと、「高校生の四人に一人が毎日たばこを吸っている」「二十代の女性の喫煙率が十六%に上昇している」というのが実態です。学内でも相当数の学生が喫煙をしているように見つけます。

二月二十七日、世界保健機関（WHO）指導の「たばこ規制枠組み条約」が発効しました。批准国の日本でも禁煙教育の強化、未成年者を識別する自動販売機導入などが予定されています。

本学では、以前から一部の場所（学生ホール、渡り廊下、学生食堂ラウンジ）を除いては禁煙とする措置をとっていました。今年四月一日から学内の建物内（教員の研究室を含む）を全面禁煙とすることに踏み切りました。

今後は指定した場所以外では喫煙をしないこととはもとより、歩きたばこや吸い殻のポイ捨てをしないよう、マナーを守ってほしいと願っています。

学生部

## パリだより

原田 裕治（経済学部助教授）

昨春から「在外研究」でパリに来ています。パリといえば、芸術・モードを連想される方も多いかと思いますが、ここでは日常生活の一端を紹介します。

フランスの食卓にパンは欠かせません。自営業者も夏に四・六週間のバカンスを取るような国ですが、その盛りの八月でも必ずどこかでパンが買えます。普段は競争相手でもバカンスのためなら協調するというフランスならではの仕組みと言えるかもしれません。

ところで、日本でフランスパンを意味するバゲットbaguetteは、もともと「細い棒」を意味します。それが転じて細長い棒状のパンを同じ名で呼ぶのですが、その名は日本人に馴染み深い「箸」をも意味します。近年は機械化や原材料の品質低下もあって、バゲットの味が落ち、人気を失っています。代わりに全粒パンが、健康ブームも手伝ってパリ市民の間で流行しているようです。

とはいえ、バゲットも店を選べば、日本ではなかなか口にできない美味なものが手に入ります。おいしいパンを求めて、朝食前の散歩と称して街を歩き、目についたパン屋でバゲットを買い求めることがしばらく習慣化しています。



おかげで、ひいきの一軒を見つめました。ただ、そこまでは徒歩で十五分ほどかかり、冷え込みが厳しくなってきたからは、ついつい足が遠のいています。



# 大津波...簿記...学友

「犠牲者たくさん、胸が痛みます」

## マヘンドラさん (スリランカの留学生)に聞く



「トでもなんでもいいので送ってくれ」と求めてきました。

**スリランカ民主社会主義共和国は人口千九百万人ですね。マヘンドラさんはどんな環境で育ちましたか。**

スマトラ沖大地震と津波で四万人を超す死者・行方不明者を出したスリランカ。経営学部一年のP・K・マヘンドラ・プシユパクマラさん(二九)は同国の留学生です。津波の様子、日本での勉強と生活などについて、マヘンドラさんの話を聞きました。

**インドネシアに次いで母国は甚大な被害でしたか。**

すごく驚きました。様子を知らなくて、携帯電話がつながりにくかった。ひどかったのは東部が中心で、西部のコロナボにある私の実家は被害を免れました。八十万人が避難し、とくに子どもたちのことを思うと辛いです。僧侶をしているおじが、ノ

四人きょうだいで三人目の私は高校を卒業後、父の印刷業を手伝い、貿易会社でも働きながら日本語を学びました。週一回(四時間)で半日くらい通い、ひらがな、カタカナを大体覚え、挨拶くらいはできるようになり、知り合いを頼って日本に来ました。二年間、東京の語学アカデミーで勉強し、日本語の力をつけました。

**東京から名古屋へ、そして名古屋経済大学に入学したのはどういう縁ですか。**

東京はにぎやかすぎるじゃないですか。それに比べ愛知県は環境がいい。三、四の大学から資料を取り寄せました。名古屋経済大学のキャン

パスが気に入って、語学アカデミーの先生にも相談して試験を受けました。一年たち、ここで学んだことはいっぱいありますね。好きなのは簿記。検定試験に一回落ち、また六月に受けて資格を取りたい。

**日本の生活は四年目に入り、もう慣れたでしょうか。**

スリランカからの留学生と一緒に、近鉄四日市駅の近くの古いマンションを借りています。2DKかな？近鉄・名鉄の乗り継ぎで週に四、五日通学しています。安先生のゼミ仲間だけでなく、いろんな授業を通じて知り合いができました。みんなで小牧のカラオケに行ったこともあり、体育館でバトミントンをやって楽しんでます。名古屋駅前でアルバイトもしています。

**将来、マヘンドラさんはどうしますか。**

スリランカと日本が国交を結んで五十年、日本人とスリランカ人の結婚も増えていきます。卒業後は日本で就職し、経営や仕事のやり方を覚え、お金も貯めてから帰国することも考えられます。日本は自分の国よりいいところが多く、住みたい気持ちもあります。

### スマトラ沖大地震 学内で救援募金

昨年十二月のスマトラ沖大地震に対し、本学の学生自治会、短期大学部学生自治会は救援金を募りました。その結果、十万一千五百九十五円が集まり、一月二十六日、日本赤十字社を通じて被災国へ送りました。

### 中国語3級に 別府さん合格

今春卒業した法学部企業法科の別府賢さとしさんは、中国語検定3級合格の吉報を受けました。

谷川毅助教は「3級では本学の中国語・のレベルよりもはるかに高い語学力を求められる。今回、別府君が合格したのは授業以外で積極的、継続的に勉強を続けた成果と言える」と語っています。



# 激しく、楽しく 1部リーグ昇格めざし



ラグビー部 主将(法学部4年) 杉原 幸伸

東海学生リーグは1部リーグから4部リーグまであり、我がチームは現在2部リーグにいます。毎年、1部昇格を目指してがんばっていますが、壁は厚く、達成できないでいます。私は、昨年の十一月に新チームのキ

ャプテンを任命されました。難しいところは、ラグビー経験の差が激しいことです。全国大会や県の代表を経験した者もいれば、高校の途中でラグビーを始めた者もいます。したがって、練習メニューを決めるのによく悩みます。でも、高いレベルに合わせないとチーム全体のレベルアップにつながらないと思います。激しくてキツイ練習をしています。初めは全員がついていけるか心配でしたが、逆に入学前に経験が浅かった部員が飛躍的にレベルアップしています。実際に経験が浅い部員もレギュラーを確保しています。よくコーチに「出身高校の名前で試合を戦うわけじゃない」と言われますが、本当にその通りだと思います。年々、部全体の意識が高まり、練習での遅刻、無断欠席もいなくなりました。当たり前前のことですが、例えば練習開始時間が十時であれば十時までにグラウンドに出て、個人でウォーミングアップをして十時に練習がスタートできるようにになりました。自分自身、キャプテンとしての自覚を持ち、今以上にチームの力が出せるようにがんばりたいと思います。今年こそは結果が出せる年だと思っているので、厳しく、激しく、キツイ練習の中でも楽しさを忘れないような練習をして、1部リーグ昇格を達成したいと思います。

## 人事異動

<p>【大学院】</p> <p>名古屋経済大学 学 長 末岡 照章</p> <p>名古屋経済大学 副学 長 鈴木 正</p> <p>名古屋経済大学短期大学部 副学 長 野田 昇司</p> <p>名古屋経済大学 法学部 長 石井 文廣</p> <p>名古屋経済大学短期大学部 商経科 長 井上 邦雄</p> <p>名古屋経済大学短期大学部 生活文化学科 長 加藤 大博</p> <p>名古屋経済大学短期大学部 保育科 長 中西尚之助</p> <p>市部記念図書館 館 長 秋田 量正</p> <p>平成十七年四月(日付)就任)</p> <p>名古屋経済大学短期大学部 キャリアデザイン学科 長 野田 昇司</p> <p>名古屋経済大学大学院 会計学研究科 長 大江 晋也</p> <p>名古屋経済大学 経済学部 長 牧野 香三</p> <p>名古屋経済大学 人間生活科学部 長 中野紀和男</p> <p>名古屋経済大学 人間生活科学部臨床看護センター 長 坂井田 宏</p> <p>平成十七年四月(日付)</p> <p>【身分変更】</p> <p>会計学研究科 賞賞教授 高藤 奏</p> <p>平成十七年四月(日付)</p> <p>【大 学】</p> <p>【昇 格】</p> <p>平成十七年四月(日付)</p> <p>経営学部 助教授 中村 壽男</p> <p>【新 任】</p> <p>平成十七年四月(日付)</p> <p>法学部 助教授 柳本祐加子</p> <p>講 師 清水 裕樹</p> <p>人倫清科部 教授 萩原 聡</p> <p>教授 伊藤 誠</p> <p>稲井 玲子</p> <p>中野 昌俊</p> <p>星野 政明</p> <p>若林 和夫</p>	<p>【短期大学部】</p> <p>【昇 格】</p> <p>平成十七年四月(日付)</p> <p>保育科助教授 家接 哲次</p> <p>【新 任】</p> <p>平成十七年四月(日付)</p> <p>法学部 教授 忠津 玉枝</p> <p>【退 職】</p> <p>平成十七年三月三十日付</p> <p>教授 小川 敏満</p> <p>川勝 泰介</p> <p>坂口 真人</p> <p>島田 裕子</p> <p>千田百合子</p>	<p>【事務局】</p> <p>【昇 格】</p> <p>平成十七年四月(日付)</p> <p>学生部 部長 西尾 徳治</p> <p>学生部 部長 山田 克二</p> <p>学理部 部長 大下 節子</p> <p>図書館 副部長 加藤 裕子</p> <p>教務部 副部長 中川 節子</p> <p>学生部 主事 太田 通弘</p> <p>教務部 主事 榎原加代子</p> <p>総務部 主事 佐久間啓行</p> <p>就職部 主事 鈴木 明美</p> <p>図書部 主事 伏見 洋子</p> <p>入学広報部 主事 村瀬 賢治</p> <p>【新 任】</p> <p>平成十七年四月(日付)</p> <p>就職部 部長 小久保純一</p> <p>入学広報部 書記 岡田 卓哉</p> <p>教務部 書記 鈴木 泰示</p> <p>総務部 書記 坪井 啓太</p> <p>【退 職】</p> <p>平成十七年四月(日付)</p> <p>所屬変更)</p> <p>平成十七年四月(日付)</p> <p>大学院教務部 部長 淵田 修</p> <p>経理部 部長 三輪 至</p> <p>学生部 副部長 松島 秀典</p> <p>就職部 主事 加藤 忠</p> <p>入学広報部 書記 柿原 明子</p> <p>学生部 書記 懸田 潤</p> <p>就職部 書記 鈴木 典子</p> <p>総務部 書記 山田 祐司</p> <p>図書館 嘱託 佐々木勝枝</p> <p>就職部 嘱託 松本 妙子</p> <p>【退 職】</p> <p>平成十七年四月(日付)</p> <p>大学院教務部 嘱託 加藤 波代</p> <p>【新 任】</p> <p>平成十七年四月(日付)</p> <p>本部財務部へ</p> <p>市部校入学対策室へ</p> <p>丸山 哲夫</p> <p>青山 信行</p> <p>田中 滋</p> <p>早川 雅春</p> <p>磯村 要</p>
---	--	---

# 入学式 おめでとう、卒業式



平成十六年度卒業式が三月十八日、本学の市郷記念体育館で行われました。

大学院(九十二名)、大学(二百六十九名)、短期大学部(二百七十九名)の計七百三十九名に末岡照章学長から学位記、卒業証書が渡されました。

末岡学長は、「激動の様相の世の中にあつて、希望と勇気を持ち、ねばり強い努力と果敢な挑戦で臨んでほしいと思います」とはなむけの言葉を贈りました。学長賞を受けたのは次の十四名です。

## 【大学院】

### 法学研究科

岩木 良太(学業優秀)

## 同 国際関係法学科

野尻有希子(学業優秀)

高島 毅(学業優秀)

## 【大学】

### 消費経済学科

山腰 典子(学業優秀)

### 経営学学科

奥村富貴代(学業優秀)

坂田和佳美(学業優秀)

喜多 雅也(学業優秀)

久保田智之(学業優秀)

### 法学部

姜 莉(学業優秀)

坂田和佳美(学業優秀)

喜多 雅也(学業優秀)

久保田智之(学業優秀)

## 【短期大学部】

### 商経科

山岸かおり(学業優秀)

生活文化学科 佐伯 麻美(学業優秀)

保育科 長尾 良子(学業優秀)

現代コミュニケーション学科 小林 幸稔

(ボランティア活動に大きな貢献)



新学部発足のもとに平成十七年度大学院、大学、短期大学部入学式は快晴の四月一日、市郷記念体育館で行われました。八百四十八名の入学生と保護者が入場し、高蔵中学・高校吹奏楽部の記念演奏の後、式の初めに、「名古屋経済大学歌」を斉唱しました。

末岡学長は、従来に加え新たな素養を持った方々を迎え入れ、彩り深いものになります。大学生ほど時間を自由に使える時はありません。無為に過ごすことのないよう目標を設定し、確実な足取りで第一歩を踏み出してください」と告辞を述べました。

引き続き入学生を代表し、喜多雅也君(大学院)、神谷祐輔君(法学部)が、喜びと希望に満ちています。幅広い

教養と視野を身につける決意です」と宣誓しました。入学生の内訳は次の通りです。

【大学院】 法学研究科、会計学研究科の計七十九名

【大学】 経済学部現代経済学科百名、経営学部

経営学科百三十三名、法学部法学科百

四十八名、人間生活科学部百八十六名

(幼児保育学科百一名、管理栄養学科八十五名)

【短期大学部】 キャリアデザイン学科八十八名、保育

科百十四名

なお、留学生は二十九名(大学十四名、大学院十五

名)、また編入生、再入学生七名いずれも大学三年生)でした。

## 人間生活科学部の フレッシュマンセミナー

人間生活科学部は、四月四・五日、豊橋市にある豊橋シーパレスリゾートにおいてフレッシュマンセミナーを実施しました。学修ガイダンスにゼミごとのグループワークやレクリエーション。学生・教職員を合わせ二百十数名が参加、寝食をともにして教職員や学生相互の交流を深めました。



## 部局を一部移転

四月一日から入学広報部は本館へ移転、また短大部教務部は1号館の大学教務部に統合されました。